

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども未来図		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日 ～ 2026年12月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年11月12日 ～ 2026年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別または少人数での活動による、個々の特性に応じた支援の提供	・お子様一人ひとりの特性や発達段階に深く丁寧に寄り添いながら、子どもたちひとり一人の興味関心に合わせた課題設定、活動に取り組むことを意識しております。 ・子どもたちが居心地よく、楽しく過ごせる場所となれるように職員を手厚く配置し、丁寧な対話、関わりを意識しております。	今後も専門性の高い支援技術を研鑽し、お子様が楽しみながら成長できる環境を維持します。職員研修を強化し、お子様とご家族の双方が安心して通える場所、成長を実感できる場所として信頼していただけるように努力していきます。
2	保護者のニーズ、困り感に寄り添った支援の提供	・保護者の皆様にとって相談しやすい環境、関係性を職員ひとり一人が築いていけるように、日々のお声がけ、様子の共有を丁寧に行っていくことを意識しています。 ・ご家庭や園、学校での困り感、お悩みをお聞きする中で、必要な遊びや課題に取り組み、評価をお伝えしていきます。	ご家庭での関わり方についても具体的な提案ができるように専門性を強化し、親子双方が将来への見通しを持てるように支援を行っていきます。
3	職員の人柄が滲み出る温かな空間、雰囲気	・職場の風通しを良くすること、職員自身が心身ともに健康であることを大切する中で、ひとり一人の職員の良さを発揮できる職場環境を意識しています。 ・困ったことがあった時も、1人で抱えずに、お子様に必要な関わり、手立てをチームとして考え、取り組んでいくことを大切にしています。	子どもたちや保護者の皆さまが安心感を感じられるような雰囲気作り、関わり方を考え続けていくこと、自己研鑽を忘れずに感性を日々磨いていくこと、職員がお互いを尊重しながら良いチーム作りを行っていくことを、引き続き大切にしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	茶話会など保護者同士が交流する機会の確保	・子どもへの支援を優先する中で、開催する機会を多く設定することができていない状況です。保護者の皆様の要望をお聞きしながら、必要な交流の機会を確保していきたいと思います。	まずは保護者の皆さまのニーズをお聞きしながら、必要な企画をしていきたいと思います。
2	関係機関との連携の強化	保育園や幼稚園、学校等の関係機関との連携は必要に応じて行っていますが、連携を取る頻度に個人差が見られている。	できるだけ全てのお子様について園や学校との連携を取ることができるよう、積極的な声掛けを行っていきます。関係機関と一緒にお子様を支えているという安心感を感じて頂けるように協力関係を築いていきます。
3	きょうだい児支援、地域との交流に関する取り組み不足	・通園してくる子ども達への支援を優先する中で、そのような機会を設定することができていない状況です。保護者の皆様の要望をお聞きしながら、必要な交流の機会を確保していきたいと思います。	まずは保護者の皆さまのニーズをお聞きしながら、必要な企画をしていきたいと思います。